

第8回我孫子市介護保険市民会議

令和4年7月14日（木）

於 我孫子市役所議会棟

・第1委員会室

- ・日 時 令和4年7月14日(木) 午後1時00分から午後2時00分まで
- ・会 場 我孫子市役所議会棟・第1委員会室
- ・出席者
 - (委員) ・荒井委員・佐藤委員・鈴木委員
 - ・寺岡委員・松下委員・松村委員
 - ・宮本委員・渡邊委員
- ・欠席者 ・檜崎委員・西川委員・忽滑谷委員
- ・事務局(市)
 - 健康福祉部
 - 三澤部長
 - 高齢者支援課
 - 中光課長・加藤主幹・長島主幹・三井課長補佐
 - 松本係長・小池係長・茅野係長・千歳係長
- ・傍聴者 なし

1 開 会

○加藤主幹 定刻前ではございますが、皆さんおそろいのようなので始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中、第8回我孫子市介護保険市民会議に御出席を賜り、誠にありがとうございます。

本日は檜崎委員から欠席の連絡を頂いております。また、西川委員、忽滑谷委員につきましては、まだお見えになっていただけておりませんので、現状8名での開催となりますが、どうぞよろしく願いいたします。

本日の市民会議では傍聴者はありません。

2 部長挨拶

○加藤主幹 それでは、開会に当たり、健康福祉部長の三澤より御挨拶を申し上げます。

○三澤部長 皆さん、こんにちは。本日は、お忙しい中、お集まりいただきどうもありがとうございます。

皆様の任期が令和元年8月1日から今年7月31日までということになっております。この任期の間に、今現在の第8期の計画をつくっていただきました。本当にありがとうございます。

今年度はその中間年ということになっており、コロナ禍ということもあって、なかなか計画どおりに進んでいかない部分は多々ありましたけれども、年を取るということはそれに関係なく訪れてきますので、できる限りのことは今後もしていきたいというふうに考えています。

次期計画の中では、2025年問題の令和7年に該当するようになります。そこも含めた上で、既に次期計画に着手をし始めております。実際には、これからアンケート等を行っていくのですが、その中でどんなニーズがあるのかというふうなことをきちんと我孫子市として把握していきながら次期計画を策定していきたいというふうに考えております。

本当に今までこの会議に参加していただきまして、どうもありがとうございます。今日の議題の中でも皆様から御意見を聞く議題がありますので、ぜひ屈託のない意見をお願いいたします。よろしく願いいたします。

3 事務局紹介

○加藤主幹 続きまして、本日は令和4年度初めての市民会議となりますので、4月の人事異動において変動のありました事務局職員を紹介いたします

高齢者支援課長補佐（兼）高齢者福祉係長の三井でございます。

○三井課長補佐 三井です。よろしく願いいたします。

○加藤主幹 高齢者支援課健康推進課係長の千歳でございます。

○千歳係長 千歳です。よろしく願いいたします。

○加藤主幹 人事異動による職員紹介は以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

ここで皆さんにお願いなのですが、これまでは速記者を入れていたのですが、今年度からはテープで文字起こしみたいな形で考えています。併せてAIシステムを使ったシステムで会議録の作成を予定しております。発言する際に、まずはお手元のスイッチを入れていただいて、マイクが赤くなったのを確認してから発言をお願いします。発言の前に、お手数なのですが、お名前を述べていただきたいと思います。

以上、よろしく願いいたします。

それでは、今後の議事進行は、議長である寺岡会長にお願いいたします。よろしく願いいたします。

○寺岡会長 皆様、こんにちは。今日もお忙しい中、ありがとうございました。先ほど来、事務局の方からお話がありましたように、第8期のメンバーで集まるのは今日で最後ということでございます。本当にありがとうございました。

つきましては、この会議の最後にお一方ずつ、感想でも、これからの提言でも何でも結構ですので、コメントを頂ければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

4 議 題

(1) 地域密着型サービス事業における事業所の指定等について

○寺岡会長 では早速、始めさせていただきます。

まず議題(1)「地域密着型サービス事業における事業所の指定等について」、事務局から説明をお願いいたします。

○茅野係長 地域密着型サービス事業における事業所の指定等につきまして、介護保険係の茅野から説明させていただきます。

まず、郵送で送らせていただきました資料「指定地域密着型サービス事業における事業所の指定等について」、御覧いただきますようお願いいたします。

今回は新規指定事業所、指定廃止事業所はありません。

次に、指定更新事業所は4事業所ございます。介護サービス事業所は、6年ごとに指定の更新を受ける必要があります。今回、これらの事業所が6年目を迎え更新に入りました。指定更新年月日がそれぞれ入っておりますが、この日から6年間が更新期間となります。

今日お手元にお配りさせていただきました「我孫子市介護サービス事業者マップ」を御覧ください。こちらは広告主の協賛によって制作、提供されたものになります。A4サイズとなって手に持ちやすく、カラーでつくっております。市民への介護サービス周知の一助となる資料となります。皆様につきましても、どうぞ御覧いただきますようお願いいたします。

以上、報告させていただきます。

○寺岡会長 ありがとうございます。ただいまの説明についての御質問とかがございますでしょうか。

ないようでございます。

(2) 高齢者なんでも相談室の実施状況について

○寺岡会長 では続きまして、議題2に移らせていただきます。(2)「高齢者なんでも相談室の実施状況について」、事務局から説明をお願いいたします。

○松本係長 「高齢者なんでも相談室の実施状況について」、相談係の松本から説明いたします。

配付資料の「市内高齢なんでも相談室の相談内容別集計」を御覧ください。これは市直営の高齢者なんでも相談室と市内5か所の地区高齢者なんでも相談室を合わせた過去3年間の相談対応件数を内容別に示したものです。お手元にありますでしょうか。

一番下の行、相談対応件数の「計」を見ていただくと、毎年3,500件ほど増加していることが分かります。内容別に見ると、増加割合が大きい順に1番目が「虐待」で3.74倍、2番目が「健康・医療に関する相談」で2.9倍、3番目が「成年後見制度・金銭管理」で1.97倍に増加しております。

特に増加が著しい「虐待」に関する相談が増加した原因については、正確には特定することはできませんが、1つにはケアマネ、それから福祉サービス事業所の虐待への意識が高まり、派遣から相談につながりやすくなったことが挙げられます。もう一つは、虐待に発展する状況が複雑化したことによって、1件の相談に対する対応件数が増加したものであるというふうに考えております。

2番目に増加率が高い「健康・医療に関する相談」の増加原因としては、健康や医療に関する意識が高まったこと。それから、高齢者の困り事の背景には健康や医療に関する課題が共存していることから、ほかの相談から健康や医療に関する相談ニーズをキャッチして対応するとか、医療機関につなぐ、連携するという機会が増加したものであるというふうに捉えております。

3番目に増加率が高い「成年後見制度・金銭管理」に関する相談対応件数が増加した原因については、虐待に関する相談が増加したことに付随して経済的な虐待、搾取から高齢者を守るために成年後見制度の利用を検討するケースが増加したものと見ております。

今後も、高齢化や核家族化によって、高齢者の相談ニーズはますます増えていくものと思われれます。そういった相談に対応できる十分な人材の確保、それから質の担保をしっかりとしてまいります。

以上です。

○寺岡会長 ありがとうございます。ただいまの御説明に対して、御意見、御質問ございますでしょうか。

渡邊委員、お願いします。

○渡邊委員 老人ホーム久遠苑の渡邊です。虐待のほうで、相談の件数で1つの虐待で幾つかの複数の相談もあるということが増えていくところを御説明いただいたのですが、実際に市として虐待として認定した件数というのはどれくらい増えたものなの

ですか。

○松本係長 ありがとうございます。手元には正確なデータはないのですが、これまでの傾向として、虐待の通報とか相談があると、それが虐待なのか、そうではないのかということ判定する仕組みがあるのですね。その中で、従前の記憶では4割程度が通報のうち虐待だというふうに認識されて対応に変わっていったという意識があったのですが、令和3年度以降は8割ほどが虐待の対応としてなされているというような結果があります。これは虐待かどうかの事実を確認することはできないのですね。ただ、虐待として対応するかということは市のほうで判断するのですが、その判断として虐待になった割合はとても増加しているというふうに見ています。

○渡邊委員 ありがとうございます。そうすると4割程度の認定から8割程度という形になると、相談件数が3倍近くになって認定件数も倍になったという、実質6倍ぐらいの認定がなされてきたということでしょうか。

○松本係長 ごめんなさい、正確な資料が手元にはないのですが、初回の相談として虐待の相談が入ったときに、この対応件数というのはあくまで延べ件数なのですが、虐待を受けている人、通報があった人自体も1.4倍ほどになっているという認識なのです。その通報の中で、さらに虐待として市が認識して対応した件数がかなり増えているということなので、その結果として3倍以上の増加となっているということです。

○渡邊委員 ありがとうございます。

○寺岡会長 よろしいでしょうか。

今の渡邊委員の御質問に追加でお聞きしたいのですが、虐待の通報者というのは大体どういう割合になっていますでしょうか。

○松本係長 一番多いのが警察からです。御本人、家族が警察を呼んで、警察のほうから連絡が入るということも増えているので、もしかするとちょっとしたことで警察が市のほうに連絡しておこうということで連絡をくれる、そういったものも増えているのかもしれませんが。2番目は本人、家族なのです。3番目がケアマネジャー、福祉の関係機関ということになっております。

○寺岡会長 ほかにいらっしゃいますでしょうか。

ありがとうございます。——ないようでございます。

(3) 第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画の実施状況
及び次期計画策定に向けた課題について

○寺岡会長 そうしましたら議題の3に移らせていただきます。(3)「第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画の実施状況及び次期計画策定に向けた課題について」、事務局から担当の方に続けて御説明いただきます。質問は最後をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

○茅野係長 「第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画の実施状況及び次期計画策定に向けた課題について」、介護保険係の茅野から、まず説明をさせていただきます。

皆様のお手元にあります計画書の44ページをお開きくださいますようお願いいたします。「第6章 高齢者施策のビジョン(将来像)について」。本市では、基本理念とする「高齢者や家族が住みなれた地域で安心してらせる地域づくり」を実現するために、令和3年度から令和5年度を計画期間とする第8期介護保険事業計画及び第9次高齢者福祉計画を策定しました。

今期計画では、国を上回る速度で本市の高齢化が急速に進む中、団塊の世代が75歳を迎える令和7年及び団塊の子が65歳に達し始める令和22年の介護サービス需要の見込みを踏まえ、制度・分野ごとの縦割りや支え手・受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が我が事として参画し、人と人、人と資源が分野を超えて丸ごとつながることで、住民一人一人の暮らしや生きがい、地域をともにつくっていく「地域共生社会の実現」に向けて取り組んでいきます。

特に、今期計画では7つの重点施策を位置づけ取組方針としました。なお、各施策の推進に当たっては、持続可能な開発目標(SDGs)の視点をもって行っております。なお、SDGsの詳細につきましては計画書46ページを御覧ください。

7つの重点施策につきましては、「重点施策1 2025・2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備」、「重点施策2 地域共生社会の実現」、「重点施策3 介護予防・健康づくり施策の充実・推進」、「重点施策4 認知症施策の推進」、「重点施策5 介護人材確保及び業務効率化の取組の強化」、「重点施策6 施設整備の推進」、「重点施策7 災害や感染症対策に係る体制整備」を7つの重点施策として位置づけました。重点施策の実施状況及び課題点につきまして、以降各担当から説明をさせていただきます。

重点施策1、保険系の茅野から続けて説明させていただきます。

計画書の46ページになります。「◆重点施策1 2025・2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備」。

厚生労働省「見える化」システムによる推計を基に、2025（令和7）年及び2040（令和22）年の高齢者人口や要介護認定者と要介護認定率の見込み、介護保険事業量の見込み、介護保険事業費の見込みを推計しました。

高齢者人口の推計につきましてですが、計画書の19ページを御覧ください。「(2) 高齢者人口の見込み」では、令和3年、4万539人と推計値がございますが、実績値は4万463人と、ほぼ推計値見込みどおりでした。要介護認定者数と要介護認定率につきましても、ほぼ推計どおりに推移しているものと思われまます。

次に介護保険事業量についてですが、計画書の91ページ以降に掲載しております。介護給付事業費につきましては、現在、令和4年度の集計と分析を進めております。令和3年度同様、計画どおりに推移しているものと思われまます。

速報値になりますが、令和4年度の介護給付事業費では、定員19人以上の広域型通所介護につきましては前年度比108%と増加傾向にあります。定員18人以下の地域密着型通所介護につきましては前年度比87%、小規模多機能居宅介護では前年度比60%と減少傾向にあります。これは令和3年度、前年度でも同じ傾向が見受けられました。

地域密着型サービスにつきましては、課題点など今度の在り方なども含めて、情報収集等に努めてまいります。

最後になりますが、介護保険料につきましては99ページを御覧ください。高齢化の進展に伴う要介護認定者の増加や新規の介護保険施設の開設など、様々な要因から介護サービスの利用は増加しておりますが、不足分については介護保険財政調整基金から繰り入れるなどし、第1号被保険者の介護保険料は7期と同じ基準月額5,000円と決めました。第1号被保険者の保険料収納率は99%を超え、今期定めた介護保険料で介護保険制度の安定的なサービスを現在のところ維持しております。

重点施策1、以上、保険系の茅野から説明させていただきました。

○松本係長 それでは「重点施策2 地域共生社会の実現について」、松本から説明させていただきます。

47ページを御覧ください。地域共生社会の実現に当たっては、「誰もが必要なときに相談支援に繋がり、受け止められる体制」を目指してきました。

まず1つ目は、アウトリーチ型の相談支援です。前提として「困っている人ほど相談につながりづらい・発見しづらい」という傾向があります。窓口や電話で相談を待っているだけでは、必要な方に支援が届くことはありません。高齢者なんでも相談室では、「窓口での相談」から「届ける相談支援」へと意識を転換し、積極的に地域に出向く相談支援を実施してきました。

次期計画においても、困っている人を見つけてつなげる仕組みを強化し、支援を届けるアウトリーチ型の相談支援を一層進めてまいります。

2つ目は、支援困難事例への対応力強化です。虐待に関する相談対応件数が増加していること、8050問題のように虐待者と被虐待者双方に支援介入が必要な複合課題を有するケースが増加していることから、市役所内の関係課が集まり、虐待連携会議を行いました。高齢者の分野だけでなく、障害者、子供、DV、母子の分野でそれぞれの状況と課題を共有し、制度の縦割りを超えて、スムーズに暴力への対応ができるよう確認し合いました。今年度は、虐待防止講演会を開催し、8050問題をテーマに学びを深め、さらなる支援力強化を目指す予定です。

最後に、地域のささえあい促進についてです。我孫子市社会福祉協議会や各地区社会福祉協議会に配置された生活支援コーディネーターを中心に、地域住民や企業、福祉事業所等が集い、地域福祉課題について話し合う「高齢者地域ささえあい会議」を実施し、地域づくりを進めていくための話し合いを行っております。その中で、「社会参加」、「見守り」、「学び合い」、「支え合い」の4つの活動から、市と市民の役割分担について意見交換を行いました。

次期計画に向けては、民間事業所と連携した見守り体制の構築や孤立死防止対策など、支援が必要な高齢者の早期発見・早期介入の仕組みについて協議してまいります。

以上です。

○千歳係長 重点施策3、重点施策4の主要な事業の実施状況について、健康推進係の千歳から説明させていただきます。

計画書の48ページを御覧ください。「◆重点施策3 介護予防・健康づくり施策の充実・推進」では、高齢者のフレイル等の心身の多様な課題に対応したきめ細やかな保健事業を行うため、市における保健事業と介護予防の一体的な事業を推進するため、令和3年度より、高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業を実施しています。

本市の取組といたしましては、ハイリスクアプローチとオペレーションアプローチを実

施しております。

ハイリスクアプローチとは、健康状態不明者を把握し、必要に応じて保健指導・医療の受診勧奨・介護サービス等につなげる取組です。令和3年度には、77歳から79歳に達する者で、過去2年間に後期高齢者健康診査が未受診の方、医療未受診・要介護認定未認定のいずれかに該当するものに国保データベースシステムから対象者を抽出しまして、段階的にアンケートを郵送しております。アンケートの回答状況により、医療専門職が必要に応じて電話または訪問指導を実施しております。実績につきましては、79歳の方が35名アンケートを実施し、78歳の方が45名実施しております。77歳については、コロナ禍もありまして令和4年度に実施予定となっております。この中で訪問した件数については28件となっております。

オペレーションアプローチの取組といたしましては、住民主体の通いの場等に保健師等が出向き、健康教育・相談の実施やアンケート等による個人の健康状態を把握することにより必要に応じて医療や介護サービスにつなげる取組です。対象者については地域の高齢者となっております。通いの場等でフレイルに関する健康教育や希望者への健康相談を実施いたしまして、フレイル状態にある高齢者を把握し、必要に応じて保健指導を実施しております。令和3年度の実績につきましては、17回、345人の方に実施しております。

続きまして「◆重点施策4 認知症施策の推進について」、御説明させていただきます。

49ページを御覧ください。認知症サポーター養成講座を実施しております。こちらは幅広い世代に講座を実施し、認知症に関する正しい知識の普及と認知症の理解の促進を図るために実施しております。令和3年度は、コロナ禍ではございましたが、18回、927名の方が講座に参加しております。また、認知症に関する知識やサービス等の普及・啓発をするため、認知症地域支援推進員を中心に認知症に関する啓発を実施いたしました。令和3年度につきましては「広報あびこ」10月1日号に認知症特集を掲載いたしました。内容といたしましては、市民のインタビューや認知症ケアパス、認知症相談医療機関、交流・つどいの場、認知症サポーター養成講座の紹介等を行いました。

今後も高齢者や家族が住みなれた地域で安心して暮らせる地域づくりを実現するため、介護予防・健康づくり施策、認知症施策を推進していきたいと思っております。

以上で説明を終わらせていただきます。

○三井課長補佐 続きまして「◆重点施策6 施設整備の推進について」、三井から説明させていただきます。

50ページを御覧ください。「◆重点施策6 施設整備の推進について」は、第8期計画で施設整備の推進を行うということになっておりましたが、令和3年度から5年度で1施設100床の特別養護老人ホーム施設を整備する予定でしたが、施設予定地の隣接自治会等の同意や説明会等に不備があったため、令和3年度から開始することができませんでした。現在、令和4年度から6年度で整備する予定で再度事業者の募集を行っております。応募の締切りは7月22日となっております。現在、応募を受け付けております。また、日常生活支援サービスにおいては利用者が少なく、介護保険で賄えるサービスや代わりとなるサービスがある場合は随時見直しを行っております。

以上です。

○茅野係長 次に「次期9期計画策定について」、保険係の茅野から説明させていただきます。

令和6年度から8年度を計画期間とする次期第9期介護保険事業計画・第10次高齢者福祉計画策定では、これまで1年間でアンケート調査から計画策定を行っていましたが、計画策定のための十分な時間を確保するため、次期計画策定では令和4年度下半期にアンケート調査、令和5年度に計画策定を行う予定です。

アンケート調査では、従来実施している「在宅介護実態調査」「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」に加えて、国が新たに推奨している調査を踏まえ、介護する側の実態を適切に把握するため、「第2号被保険者」「介護事業者」「介護従事者」などのアンケート調査を実施する予定です。

アンケート調査報告書では、ページ数を少なくするなど、読み手の負担を軽減できるレイアウトを目指してまいります。

次に、計画策定になります。具体的な内容につきましては、来年度、計画作成上のガイドラインである国の基本指針が示された後になりますが、計画の基本理念でもある「高齢者や家族が住みなれた地域で安心してらせる地域づくり」を実現する上で、計画書の一番後ろにもロゴを配置させていただいておりますが、「認知症になっても安心して暮らせるまち我孫子」など、我孫子市らしい特色を生かしていくことが重要だと考えております。それに加え、市独自で行っている既存の施策や事業（RUN 伴、Orange Day! の取組など市独自で行っている事業）を前面に出すことによって、我孫子市に住んでいてよかったと思っただけの地域づくりにもつながるのではないかと考えております。

計画書につきましては、実際の現場の写真、施策のページにコラムを掲載、難解な語句

には注釈をつけるなどし、計画書につきましては、カラーでの計画書の作成を予定しております。多くの方に興味や関心を持っていただき、市の取組や課題を知っていただくきっかけとなるような計画書づくりを心がけてまいります。

以上です。

○寺岡会長 ありがとうございます。事務局からの説明は終わりましたので、皆様のほうから何か御意見とか御質問はございますでしょうか。

私から1点だけ聞かせていただきたいのですが、今、重点施策の7は説明していただいたのでしょうか。51ページに「災害や感染症対策に係る体制整備」とありますけれども。

○茅野係長 すみません、追加で7のほうを説明させていただきます。

○寺岡会長 よろしく願いいたします。

○茅野係長 まだコロナ禍ということで、感染者数も増加しております。今年に入りまして、事業所で集団感染、クラスターや、ここ最近、コロナ禍により燃料費等の需要の増加等がございます。市では事業所に対して全力で支援を行ってまいります。あとは日頃からの災害等に関して、我孫子市避難行動要支援計画等に基づいて要支援者名簿等の作成を、地道な取組の積み重ねになりますが、行ってまいりたいと思っております。

以上です。

○寺岡会長 ありがとうございます。一番気になるのが、コロナで自粛生活が続いておりますので、特に一人暮らしのお年寄りはお自宅で閉じ籠もり状態になっている方も結構多いのかなと思って、そういう方に対して、この51ページの最後のほうにも書いてありますように、「居宅においても健康を維持するための必要な情報発信」ということが書いてあったので、この辺は具体的に何か活動されることが今後ありましたら、また教えていただければと思います。よろしく願いいたします。

ほかに何か。

○松村委員 市民公募の松村です。3年前にこの委員会が始まったとき、最初だったと思いますけれども、アンケート調査についてちょっと意見を述べたのですが、大変立派な調査ですね。経年的に比較もできるような、そういうふうなことで重要な調査だと思うのですが、もうちょっと何というか、政策立案とアンケートの連携というか、そこら辺のところは十分僕は見えてなくて、もうちょっと何というか、政策立案に参考になるような工夫というのがあるのではないかなというのが思ったのですね。

○寺岡会長 調査結果がですか。

○松村委員 はい。それからもう一つは、サンプリングをきちんとやれば、前に私は北地区の社協の委員などもしていたのですけれども、皆さん介護保険に御関心があって、自分の地区の中で認知症とか、要介護の人がどれくらいいるのかみたいなものを、地区別の何かデータがあれば、住民団体も自分たちで勉強しながら考えていくことができるのではないかなと思うのです。これまでの経過もいろいろあると思いますけれども、そういう住民団体が、例えば地区社協でも勉強会で参考にできるようなデータというのをつくっていたかと思うのではないかなと思うのですよね。

以上です。

○寺岡会長 住民主体で何か考える材料みたいなのを、もうちょっと。

○松村委員 はい。

○寺岡会長 今、松村委員から御意見がありました、何か事務局から。

○茅野係長 アンケート調査なのですけれども、まだ国からはっきり示されていないのですが、その中でも在宅生活改善調査と居所変更実態調査、あとは介護人材実態調査等について新たなアンケート項目が出されております。それらを含めて、前から松村委員には圏域ごとのデータをもうちょっと考えてみてはどうかということでお話を頂いているところですが、頂いた御意見等含めて、次期策定のほうで御審議等いただきながら進めさせていただければと思っております。

○加藤主幹 ニーズ調査とか、そういったアンケート調査が政策に反映されていないのではないかという御指摘があったかと思うのですけれども、これまではアンケート調査と計画策定を合わせて1年間でやっていたのですが、次回の計画からはアンケート調査を前倒しして、次期計画のアンケート調査については今年度実施する予定でいます。今年度実施させていただいた中で、ニーズとかをきちんとした分析を行った上で来年度、その結果を反映させた計画策定を行いたいというふうに考えていますので、その部分は委員から御指摘をこれまでも頂いていますので、しっかりと分析を行った上で、そのニーズに合わせた計画みたいなものを策定できるようにしていければというふうに考えていますので、引き続きよろしくお願ひします。

○寺岡会長 ありがとうございます。松村委員、よろしいでしょうか。

ニーズ調査も大事なのですけれども、松村委員も多分おっしゃりたかったのかなと思うのは、調査だけではなくて、住民の意見を吸い上げてくれるような仕組みが欲しいというようなお考えもあったのかなというふうに思ったのですけれども。調査は調査で必要だと

思うのですけれども、じかにもう少し自治会とかいろいろなものを利用して、ふだん声を上げられないような人の意見も、状況もなかなか難しいのですけれども、従来の考え方から少し踏み出して、いろいろなことを御検討いただければいいのかなと思ったりしております。本当にやる事が多くて大変だと思うのですけれども、要求ばかりで申し訳ないのですが、ちょっと頭の隅に置いておいていただければと思います。ありがとうございました。

松村委員、よろしいですか。

○松村委員 はい。

○寺岡会長 ほかにございますでしょうか。

○鈴木副会長 社会福祉協議会の鈴木です。重点施策の4番目の「認知症施策の推進」の中で、認知症サポーターのことが、先ほど1年間で900人以上、令和3年度はあったというお話なのですが、認知症サポーターの養成講座を受けた方にはオレンジリングを今までお配りしていたかなと思うのですけれども、それが今年からなのか来年からなのか、「市のほうではやめますよ」という話を聞いたのですけれども。今まで市のほうから配られたオレンジリングの数でカウントしていたわけではなくて、社会福祉協議会も地区社協などで認知症サポーターの養成講座をやっていますので、そういうふうな人数のカウントというのは、私の認識ではオレンジリングでカウントしていたのかなと思っていたのですけれども、その辺についてはもう配布しないよということらしいので、どういうふうな形でカウントしていくのでしょうか。

○千歳係長 御質問ありがとうございます。認知症サポーター養成講座の登録者の人数につきましては、社協さんも含めまして、各団体さんの「何人実施しましたよ」という報告を全て市のほうで受けておりますので、こちらのほうでカウントしております、オレンジリングの数でカウントしているというわけではございません。こちらの認知症サポーター養成講座の上位団体でありますキャラバン・メイトさんが、今後オレンジリングを配布しないという方向性だったため、こちらのほうもオレンジリングを廃止いたしまして、その代わりにカードをお渡しするという形に今後変更していくという流れになっております。ただ、オレンジリングが欲しいという御意見も結構ございまして、オレンジリングが欲しいという方に関しては差し上げております。

○鈴木副会長 小学生とか中学生に認知症サポーター養成講座をやりますとオレンジリング今まで渡していたのですけれども、「それをつけては駄目ですよ」というふうな指導が

学校からあるので、あげても子供たちはそれをどうしているのかなというのもあったので
すね。市内の6か所の地区社協で、今後も小学生ですとか認知症サポーター養成講座をや
るに当たって、「受けたよ」というしるしをあげようかなということで、市のほうからは
カードというお話だったのですけれども、例えばミサンガみたいなものをあげられないか
かなと。それと「各地区でつくとお金がかかるから、市社協でつくってくれないか」と言
われていまして、その辺も検討はしているのでけれども、子供たちにとっては受けたあか
しみみたいなもので、かつランドセルとかバッグにつけられるようなものがあるのもいいの
かなということで、今うちのほうでもちょっと話をしているのですけれども、その辺につ
いて何かいいアドバイスでもあれば教えていただきたいのですけれども。

○千歳係長 御意見ありがとうございます。小学校ではつけてはいけないことはちょっと
存じ上げていませんでしたので、今のお話を聞きまして、いろいろ一緒に考えていけたら
よいかと考えております。今後ともよろしく願いいたします。

○寺岡会長 ありがとうございます。ほかにもございますでしょうか。

○長島主幹 長島と申します。今配付しましたこちらの「我孫子市広報動画チャンネル」
について御説明をさせていただきます。

ナイツ塙さんがふるさと大使となって、市のホームページから、このような形で動画チ
ャンネルというのを設置しまして、今お話のありました認知症の関連なのですけれども、
7月が認知症の特集という形で、市内の事業者の方で「RUN 伴」の実行委員の方と塙さ
んが掛け合うような形で認知症の啓発を予定しておりますので、ぜひ御覧いただくのと、
チャンネル登録をしていただけると非常に助かりますので、ぜひよろしく願いいたしま
す。

以上です。

○寺岡会長 ありがとうございます。こういう広報もあるということなので、ぜひ皆さ
んにも見ていただきたいと思います。

御質問がないようでしたら、今日用意しました議題が全て終了いたしました。

(4) その他

○寺岡会長 冒頭申し上げましたように、このメンバーで会えるのは今日が最後というこ
とでございます。一言ずつで結構ですので、御感想、御提言何でも忌憚のない御意見を伺

えればと思います。

恐れ入りますが、松村委員からお願いできますでしょうか。

○松村委員 3年間委員をやりまして、いろいろ勉強させていただきましてありがとうございます。

ちょっと1点だけ気がついたことというか、今、私は市民後見事業をやっているのですが、その中で去年、おとし、コロナの中で、例えば8050問題のほうについては、なんでも相談室のほうに相談がくるけれども、娘さんの障害者との関連もあって、なんでも相談室のほうでは対応できないということで、うちのほうが間に入っているいろいろなことがあったのですね。そういうことで民間の役割というのが意外と重要なんだというのがちょっと思いまして、それから今日の報告でアウトリーチの話もありまして、電話での相談とか窓口の受付ではなくて、もう一步踏み出して地域に出ていかななくては駄目だというお話がありまして、うちのほうでも、ここ3年間でアウトリーチ事業は障害者と高齢者対象にして30件くらい要望がありまして、10件くらいが解決しているみたいなことがありまして、ほかの自治体に聞いてみると、生活困窮者自立支援事業の関連なのではないでしょうか、あれだと国の補助が4分の3くらい出るのでしょうか。詳しいことよく分からないのですが、行政のほうがちよっと意欲的にやってもらえれば、我々のほうもそんなに時間を取られなくてもやれるのではないかと思います、アウトリーチ事業は恐らく高齢者よりも障害者のほうが大変だと思うのですが、背景には引きこもり事業というのがあるわけですが、その関係もありますので、高齢者支援課が介護保険との関連で周辺の障害者計画との関連で、アウトリーチとか8050問題に対応していただければと思います。

以上です。

○寺岡会長 ありがとうございます。荒井委員、お願いいたします。

○荒井委員 前任者から引き継ぎまして、途中から入りましたので、5年間大変お世話になりました。先ほど茅野さんからもお話がありましたけれども、次期計画に「我孫子らしさ」をなるべく織り込んでいきたいというお話がありましたが、東葛地区で一番高齢者率も高いですし、「らしさ」というのは地域の方が一番望んでいるところではないかと思います。

今後ともよろしく申し上げます。ありがとうございました。

○寺岡会長 ありがとうございます。佐藤委員、お願いいたします

○佐藤委員 医師会の佐藤です。今回3年間ということで、あっという間に終わってしまいましたが、コロナに始まりコロナに終わるということで、現在第7波突入中ということで先が全然見えないのですけれども、今回こういう介護保険事業及び事業計画を策定するに当たって、新しい生活様式というのを取り入れた上での計画ということで、またさらに問題が山積みになり、難しい采配をされる事務局さんは非常に大変ではないのかなと思うのですけれども、これからも市民のためにいい計画を立てるように、また骨を折っていただければと思います。いろいろありがとうございました。

○寺岡会長 ありがとうございました。渡邊委員、お願いいたします。

○渡邊委員 老人ホーム久遠苑の渡邊です。本当にコロナ禍の中での計画ということと、この市民会議のほうも、なかなかコロナ禍で難しかったところもあるかと思うのですけれども、恐らくこの先すぐに収まるということもないので、コロナの状況を考えた上での計画策定というのが次期のところでも必要になってくるのかなと思います。

実際に老人ホームのほうでもお支払いが、コロナで御家族がちょっと難しくなっている件数も、やはりコロナの影響で増えているということと、あと虐待も経済的虐待がちょっと多かったかなということもあって、子供でもコロナ禍でおうち時間が増えて一緒にいる時間が増えての虐待がということもあるので、恐らくこれから先も少しそういったことを踏まえた上での計画策定になってくるかなというふう実感として考えております。3年間ありがとうございました。

○寺岡会長 ありがとうございました。宮本委員、お願いいたします。

○宮本委員 老人ホームアコモードの宮本と申します。委員を務めさせていただいてありがとうございました。職場に戻ると日々、目の前のことに追われがちなのですが、回数は少なかったのですが、こういう場に参加することで、自分が今やっている仕事の全体としての位置とか将来の計画とかを知ることができたということと、ここで得た情報を日々頑張っている現場の職員と共有することで、認識、視野を広げることができました。ありがとうございました。

以上です。

○寺岡会長 ありがとうございました。松下委員、お願いいたします。

○松下委員 こちらの会議に参加させていただいて3年目ということで、最初の頃から比べますと、大分きめ細かにいろいろなことが実行されて変化が見えたのが大変喜ばしいなと思っております。

ちょっと気になったのは、介護認定審査会にも参加させていただいているのですけれども、ちょっと前のファイルには転居の方が物すごく多かったのですよね。有料老人ホームとかああいうのが結構できているので、そこに入られた方が多いから転居で介護保険を利用される方が多いのかなと思ったのですけれども。時価も安いということで、そういうのが増えますと、市からの出費も多くなるのではないかなという気がするのですよね。市内の方が優先的に入られる分には問題ないのしょうけれども、よその市町村からどっと入られると、介護保険料が上がるのではないかなとちょっと心配したことがありました。

重点施策6のところ「県と市において更なる情報連携を図る」ということなので、この点をちょっとセーブしろというわけではないのですが、無防備にどんどん増えますと施設がいっぱい増えてしまって、普通の人アップアップしてしまうと介護困難になって、それも困るなという気がしましたので、その点のセーブする度合いというのを決めておいていただければと思いますね。それだけ気になりました。いろいろ3年間ありがとうございました。

○寺岡会長 ありがとうございました。鈴木委員、お願いいたします。

○鈴木副会長 社会福祉協議会の鈴木です。前任者の後任で、私はこの会議は2回目ですので感想と言われてもちょっと困るのですけれども、お世話になりました。ありがとうございました。

○寺岡会長 ありがとうございました。

私も何か言わなくてはいけないのですけれども、本当にコロナがいつ収まるかと思っていたのですが、これは長引きそうですよね。この状態で、多分現場の方もかなり疲弊されていると思うのですよね。利用するものは何でも利用してしまえという感じで、それはいいほうに解釈して、例えば住民の力ですとか、ITですとか、ちょっと発想を転換していただいて、皆様も少し余裕を持って、なかなか難しいとは思いますが、現場が疲弊されると一番困るのは住民なので、その辺またいろいろうまくやっていただければと思っています。また来期もよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○加藤主幹 本日は御審議いただき、どうもありがとうございました。本日、皆様からいろいろ御意見を頂きましたので、そういった御意見については次期計画策定の中で反映していきたいというふうに考えております。

5 閉 会

○加藤主幹 それでは、これもちまして第8回我孫子市介護保険市民会議を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。